

第25回 大阪府道路メンテナンス会議を開催

R6年9月24日開催（大阪合同庁舎1号館 2F大会議室）

大阪府下道路管理者（国、大阪府、NEXCO西日本、阪神高速道路、大阪市、堺市、府下の市町村の合計73名出席）

大阪府下の道路管理者たちが一堂に会し、道路メンテナンスの現状と未来の施策に関する具体的な課題を議論いたしました。特に、老朽化が進む中で、予防保全に向けた修繕措置や新技術の活用、舗装の点検および修繕措置をテーマに、それぞれの現場からの知見や施策を共有し、意見の交換が行われました。

① 大阪府内の令和5年度点検では、橋梁は1,551、トンネルは40、道路付属物は478の施設を点検しました。

IV判定（緊急措置段階）は0件で、

III判定（早期措置段階）の対R5点検数の率は

橋梁が点検数の5%、

トンネルが点検数の10%、

道路付属物が5%

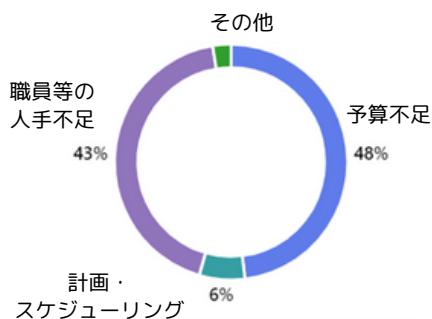
となりました。

施設名	管理施設数	R5点検数	判定区分		判定区分/R5点件数	
			III	IV	III	IV
橋梁	11,476	1,551	75	0	5%	0%
トンネル	122	40	4	0	10%	0%
道路付属物	2,952	478	22	0	5%	0%

② アンケート結果

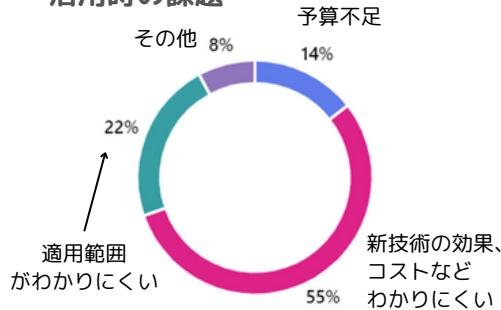
●修繕等措置の計画的な補修・

修繕の実施の課題

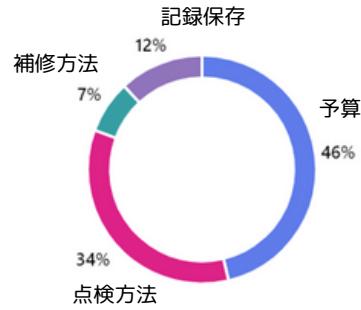


●点検における新技術の

活用時の課題



●舗装の点検における課題



③ 意見交換

- 補修や修繕の優先順位を健全度や社会的影響度に基づいて明確化し効率的に事業を推進している事例がありました。
- 構造物の損傷をデータベース化し、長期的な修繕・補修計画を策定している事例がありました。
- 小規模な橋梁や市管理の橋梁には適用できる新技術が少ないと指摘があります。
- ドローン点検などの新技術では、近接目視や打音検査の代替が難しく、効果的な点検ができない場合があります。
- 道路台帳の電子化やデータのデジタルリンクにより、舗装管理のDXを促進し、補助申請や修繕方法の効率化を図る提案が出ています。
- 幹線町道でFWD調査を実施し、舗装構成に基づいて修繕計画を策定している事例がありました。



【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所

〒536-0004 大阪市城東区今福西2丁目12番35号

代表電話番号 06-6932-1421 (受付時間9:15~18:00)

国土交通省
近畿地方整備局

ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/osaka/>

ホームページ X



おおつかのつどじゅう